

PayPro Global Inc. (PayPro) プライバシーポリシー

1. PayPro プライバシーステートメント

当社はおお客様のプライバシーを重要なものと考えております。当社は、お客様が当社ストアにて肯定的な購入体験をしていただけるよう保証したいと願っており、また何度でもお戻りいただきたいと思っております。当社は当社および当社サプライヤーに対し個人情報保護規則を定め、PayProのWebサイトでのお買い物の際に最大限のプライバシー保護を保証するようにいたしました。お客様のご注文を処理したり、お支払い内容を承認するために特定の情報が不可欠であることにご注意ください。しかしながら、当社はいかなるデータもおお客様の同意なく収集することはありません。この宣言は、以下でご確認いただけます利用者のプライバシー保護のためのOECDのガイドラインに基づいています。

2. PayProについて

今日の情報通信技術はPayProのビジネス活動の中心的役割を担っています。当社の主な活動は企業やバイヤー様等に対象としたダウンロード可能な製品の配布サービスです。お客様のプライバシーと個人データを保護することには、当社がオンラインおよびオンラインで当社の活動を作成、計画、および実行する上では重要であると考えております。

当社のプライバシーポリシーはPayPro Global Inc. を対象しています：

PAYPRO Global INC.

225 The East Mall, Suite 1117

Toronto, ON, M9B 0A9

Canada

弊社のプライバシーポリシーについてご質問がある場合は、お問い合わせください：

担当者氏名：Tibor Madjar

住所：225 The East Mall, Suite 1117, Toronto, ON, M9B 0A9, Canada

Phone: +1-647-977-7769 Ext:704

Fax: +1-647-977-7769 Attn: Tibor Madjar

URL: www.payproglobal.com

3. 目的明確化とデータ収集

お客様の当社のWebサイトのホームページにアクセスし、個人情報を開示することなく当社のサイトをブラウズすることができます。当社は事前にご確認および同意を戴いた場合にのみ、お客様の個人データを収集しています。自動的に記録された情報を除き、お客様に関するその他のデータは一切収集しておりません。当社は、登録、注文、調査、コンペ、その他のフォームまたは電子メールにてお客様が自発的に提供する個人データの収集を行います。

4. Cookieについて

当社はCookieをWebサイト訪問中のセッション情報の保持、訪問中のセッションの安全性の向上、あるいはWebサイトユーザビリティ改善するために、お客様の明示的な同意を得て利用しております。当社は、利用者様の事前の同意なしに訪問者のCookieに保存されている情報をその他のいかなる個人データにつ関連付けることはありません。お客様の個人データにアクセスする権限を持ち、そのデータの処理に関係する当社の各従業員は、お客様のお個人データの機密性を尊重するよう義務付けられています。

5. 訪問者の選択

ご希望に応じて、当社Webサイトからプロモーションまたはマーケティング情報を受信いただけます。

6. 情報開示

当社は当社Webサイトの訪問者の個人データを当社関連企業およびそのWebサイトにのみ、あるいは電子配信の場合は、お客様が製品をお買い上げになった企業へ参考情報として開示しています。これらの企業は、テクニカルサポート、製品のアップデート/アップグレード情報、あるいは新製品リリースの通知目的でのみ当該情報の使用を許可されています。これらの企業はまた、お客様はマーキングリストから登録を解除できるように義務付けられています。お客様の個人データはその他のサードパーティ企業、特にメール配信またはその他のマーケティング活動を目的とした企業には開示されることはありません。当社は法やその他の規制で必要な場合を除き、お客様の個人データを国家機関や当局に開示しないことを保証いたします。

7. プライバシーポリシー

当社は当社管理下にある個人データを、許可されていないアクセス、不適切な使用、改ざん、違法または偶発的な破壊、偶発的なデータ損失から保護するための技術、セキュリティポリシー、規則、および方策を実施しました。

8. プライバシーコンプライアンスの詳細

ーOECDガイドラインのプライバシーの原則

ー収集制限の原則

個人データの収集には制限を設けるべきであり、またそのようなデータは適法かつ公正な手段および、適当な場面で、利用者の確認や同意を得た上で取得する必要があります。

ーデータ本質の原則

個人データは、それらの利用目的およびその目的に必要な範囲に適合し、完全な正確性かつ最新の状態を維持しなければなりません。

ー目的明確の原則

個人データの収集目的は少なくとも収集時には明記されるべきであり、それ以降は目的の遂行またはその他目的を外れないものや、目的の変更の根拠が明記されている場合にのみ利用を制限するべきものです。

ー使用制限の原則

個人データは、OECDプライバシーガイドライン第9項「目的明確の原則」指定された以外の目的のために開示したり、利用可能な状態にするべきではありません。ただし、以下の場合いはこの限りではありません： a) データ主体の同意がある場合に、あるいは

b) 法令に基づく場合。

ー安全保護の原則

個人データは合理的な安全保護措置によって、滅失、不正アクセス、破壊、不正使用、改ざんあるいは漏えい等のリスクから保護されるべきです。

ー公開の原則

個人データの活用、取扱い、およびその方針については、公開された一般的な方針に基づきべきです。それらの方法は、個人データの存在および性質、それらの主要な利用目的だけでなく、データ管理者の識別および利用を立証することによって容易に利用可能であるべきです。

ー個人参加の原則 個人は次の権利を有します：

- A. データ管理者が自身に関連するデータを保持しているか否かについて、データ管理者あるいはその他の者から確認を得ること。
- B. 自身に関するデータを保持している者に対し、合理的な時間内に、必要な場合は過度にならない費用で、合理的な方法かつ、本人が確認しやすい方法で自身にらしめること。
- C. 副段落 (A) および (B) の元で要求が否定された場合には、その理由が説明されること、およびそのような否定に対して異議を申し立てることができること。
- D. 自身に関連するデータに対して異議を申し立てること、ならびにその異議が認められた場合には、そのデータを消去、訂正、完全化、改めさせること。

一責任の原則

データ管理者は、上記の原則実行する規則に遵守する責任があります。